



## 三浦 健博 さん(42歳)

いよいよ開催が目前となり、全国的な盛り上がりを見せるラグビーワールドカップ。今月は大槌町出身で釜石シーウェイブスのアドバイザーを務める三浦健博さんです。

### ラグビーを始めたのは

#### 高校のときから

小学校の時は野球や相撲、ユニホック、中学校の時はバスケットボールなどをしていて、本格的にラグビーを始める高校までに、いろいろな競技をしていました。高校卒業後は、新日鉄のラグビーチームに所属し2000年のクラブ化で釜石シーウェイブスになったときも選手として試合に出場していました。そのあとは、シーウェイブスのヘッドコーチに就任して、今はアドバイザーとしてチームに所属しています。

### ラグビーワールドカップへの期待

ラグビーワールドカップでは釜石に完成したスタジアムの落成式や大会を盛り上げるイベント、他県で開催されるパブリックビューイングの解説などに関わっています。

ラグビーワールドカップはヨーロッパや南半球の強豪国で開催されるが多かったのですが、今回はアジア初開催で、しかも釜石での開催ということもあり、とてもうれしく楽しみです。震災のとき、選手だった私はラ

グビーを通して何かできることはないかとずっと考えていました。その時は、まさか釜石でワールドカップが開催されるとは思っていませんでしたが、願っていれば叶うこともあると実感できました。今回のラグビーワールドカップや関連する取り組みが大槌、釜石だけでなく、甚大な被害を受けた三陸沿岸に元氣や勇気を与える象徴になればと思っています。

### スポーツをしている子どもたちへ

ラグビーはもちろんですが、子



供たちにはいろいろなスポーツに挑戦して欲しいです。私も小中学校までやってきた色々な競技が、ラグビーをやる上で良い経験になっています。いろいろな挑戦して経験し、自分の好きなスポーツを見つけて欲しいです。